

## 京都市交響楽団

特別演奏会

コンサート

指揮  
Conductor沖澤 のどか  
(常任指揮者)  
Nodoka Okisawa  
(Chief Conductor)

©Felix Broede

2025  
12.27・12.28

Sat, Dec. 27, 2025 / 2:30PM Sun, Dec. 28, 2025 / 2:30PM

午後2時30分開演 (午後1時30分開場) Kyoto Concert Hall

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、  
出口1・3番から南へ徒歩約5分合唱  
Chorus京響コーラス  
Kyoto Symphony Chorusベートーヴェン：交響曲 第9番 ニ短調 op.125 「合唱つき」  
Beethoven: Symphony No.9 in D minor op.125 "Choral"

沖澤のどかが第九に登場！

京響とともに歩んだ1年を振り返る

The Special Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra "The 9th Symphony of Beethoven"

入場料 2025 10/11から発売

S 6,000円 A 5,500円 B 4,500円 C 3,500円

【一般発売に併せて販売】S 2,500円 A 2,000円 B 1,500円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる  
証明書の提示をお願いする場合がございますので必ずご携帯ください。※オンライン  
チケットhttps://www.s2e-get.jp/kyoto/pt/で販売 (チケットカウンター、チ  
ケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。販売席数は限定。

【当日残席がある場合のみ発売】S 2,500円 A 2,000円 B 1,500円 C 1,000円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる  
証明書の提示が必要となります。※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお  
買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座  
席指定はできません。

チケットご予約

- 京都コンサートホール 075-711-3231
- ロームシアター京都 075-746-3201
- 24時間オンラインチケット購入  
https://www.s2e-get.jp/kyoto/pt/
- チケットぴあ https://t.pia.jp/  
Pコード 280-858
- ローソンチケット https://l-tike.com/  
Lコード 53038

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。  
(お子様お1人につき1,000円/2025年12月19日までに京響075-222-0347へ  
お申し込みください) ©京都市交響楽団

- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引 (10%OFF) があります。  
京響 (075-222-0347) までお問い合わせください。
- ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。  
京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います  
(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。

©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。©都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

お問い合わせ 京都市交響楽団 075-222-0347 https://www.kyoto-symphony.jp/ ➡  
京都コンサートホール 075-711-3231 https://www.kyotoconcerthall.org/主催：京都市交響楽団 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市  
協力：株式会社ドルチェ楽器 後援：(株)エフエム京都

協賛：ローム株式会社、介護付有料老人ホーム 京都ヴィラ

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。ROHM  
SEMICONDUCTOR



The Special Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra  
"The 9th Symphony of Beethoven"

## 京都市交響楽団 特別演奏会

# 第九

コンサート

年末恒例の京響の第九公演、2025年は京響常任指揮者の沖澤のどかが登場。ソリストも国内で活躍する実力派でお贈りします。「歓喜の歌」の合唱に包まれながら、あなたも京響の音楽とともに過ごした1年を振り返りませんか？

指揮  
Conductor

沖澤 のどか (常任指揮者)  
Nodoka Okisawa (Chief Conductor)

2019年プザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞と聴衆賞を受賞。2018年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝。第28回(2020年度)渡邊曉雄音楽基金音楽賞、第21回(2022年度)齋藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門、第1回(2023年度)毎日芸術賞ユニクロ賞、青森市長特別未来賞、令和6年度京都市芸術新人賞など受賞多数。2024年2月、総監督・小澤征爾氏の生前の指名でセイジ・オザワ松本フェスティバル史上初の首席客演指揮者に就任。サイトウ・キネン・オーケストラへは2022年の同フェスティバルでデビュー後、すぐに再招聘を受けた。ミュンヘン響2022/23シーズンのアーティスト・イン・レジデンス。故郷の青森で開催される「青い海と森の音楽祭」芸術総監督。2020-22年ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ペトレンコ氏のアシスタント。2025年は、2月に東京二期会へ「カルメン」で再登場、5月にロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管へデビューのほか、11月にはロンドン・フィルとボストン響へデビューする。NHK響、読響、新日本フィル、日本フィル、都響等に定期的に客演。青森県生まれ。東京藝術大学で高関健、尾高忠明両氏に師事して修士号を取得。2019年ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでC. エーヴァルトとH.D. バウム両氏のもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。2023年4月から京都市交響楽団第14代常任指揮者に就任。

合唱  
Chorus

京響コーラス Kyoto Symphony Chorus

1995年秋、京都コンサートホールが完成した当時の京響音楽監督&常任指揮者・井上道義の提唱で「京響第九合唱団」として結成。その後「京響市民合唱団」と改名し、2012年からはさらに音楽的な高みをめざして、京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組む「京響コーラス」と名称を変更、創立者の井上道義を創立カペルマイスター、当時の京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて新たにスタートした。現在、約130名の団員で構成されており、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場・京都市内文化会館等で練習を行っている。

京都市交響楽団 City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置・運営に責任を持つ。(身近な存在として、市民に愛され誇りとされる)文化芸術都市・京都の象徴となる)オーケストラを目指している。京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会など多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリースを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2026年には創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。

ソプラノ  
Soprano

嘉目 真木子 Makiko Yoshime

国立音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所修了。修了時に優秀賞受賞。文化庁在外研修員としてフィレンツェに留学し研鑽を積み。オペラでは、二期会『魔笛』パミーナ、『フィガロの結婚』(宮本亞門演出)スザンナ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『パリ・アッチ(道化師)』ネッダ、『こうもり』ロザリンド、『魔弾の射手』アガータ、日生劇場『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ等、数多く出演。2018年にはフランスのラン国立歌劇場での『金閣寺』(宮本亞門演出)で欧州デビュー、その後の二期会公演にも出演した。その他に、A.バッティストー二指揮『道化師』ネッダ及び『カルメン』ミカエラ、二期会『メリー・ウィドー』ハンナその他、『トスカ』『蝶々夫人』『夕鶴』などのタイトルロール等を演じ、いずれも好評を博す。コンサートでも、ベートーヴェン『第九』をはじめハイドン『四季』、フォーレ『レクイエム』、エルガー『神の国』等のソリストを務める他、NHK『ニューイヤーオペラコンサート』等メディアにも多く出演し、幅広く活躍。チャネル・ピグマリオン・デイズ2017参加アーティスト。CD『My Favorite Songs—わたしの歌に入りー』をリリース。二期会会員。



©T.Takada

メゾ・ソプラノ  
Mezzo Soprano

小泉 詠子 Eiko Koizumi

東京藝術大学大学院博士課程修了、博士号取得。二期会オペラ研修所修了後、文化庁在外研究員として渡伊。これまでに、二期会『ファウストの劫罰』マルグリット、『ノルマ』アダルジーザ、『ナクソス島のアリアドネ』ドゥリヤーデ、サイトウ・キネン・フェスティバル松本及び日生劇場『ハンゼルとグレーテル』ハンゼル、日生劇場『ルサルカ』料理人の少年、ブランドオペラ共同制作『カルメン』メルセデス、新国立劇場『イエヌーファ』パレナ、『ワルキューレ』ジークルーネ、『スーパーエンジェル』ルイジ、『ボリス・ゴドゥノフ』フョードル等、数多く出演。24年には二期会『蝶々夫人』スズキ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラを演じ、いずれも好評を博した。コンサートでは、プラハ国立歌劇場管弦楽団やコンボ交響楽団と共演する他、M.シュナイト指揮ブルックナー『ミサ曲』短調『テ・デウム』、J.ノット指揮モーツァルト『レクイエム』等のソリストとしても活躍。ベルリンで開催されたヤング・ユーロ・クラシック音楽祭では『第九』ソリストを務めた。NHK『ニューイヤーコンサート』、NHK-FM『リサイタルパッショ』に出演。第15回若城宏之音楽賞受賞。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。



テノール  
Tenor

小原 啓楼 Keiroh Ohara

東京藝術大学卒業、同大学院修了、博士号取得。ロームシアター京都及び二期会『フィデリオ』フロレスタンでの力強い歌唱が絶賛される一方、新国立劇場『夕鶴』とひょうにおける繊細な日本語歌唱も美しく、高い評価を得ている。同役では、外務省主催『ロシアにおける日本年』に参加、マリインスキー劇場でも演じる等、国内外で活躍。また、新国立劇場『鹿鳴館』『沈黙』等の邦人作品に多数出演の他、二期会及びびわ湖ホールでの『ローエングリン』タイトルロール、二期会『イル・トロヴァトーレ』『蝶々夫人』(ともにA.バッティストー二指揮)等に主演、いずれも好評を博す。コンサートではモーツァルト、ロッシーニ、ロイド＝ウェバー等の『レクイエム』、ロッシーニ、ドヴォルザークの『スターバト・マテル』、ベートーヴェン『第九』『ミサ』『ソレムニス』、ブルックナー『ミサ曲第3番』『テ・デウム』、マーラー『千人の交響曲』『大地の歌』等、古典から現代作品まで幅広い作品で国内各プロオーケストラとの共演も多く、京響とはこれまでにプリテン『戦争レクイエム』等で共演。NHK『ニューイヤーオペラコンサート』等メディアにも多数出演。愛知県立芸術大学教授。二期会会員。



バリトン  
Baritone

山本 悠尋 Yukihiro Yamamoto

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。アカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。同大学院音楽研究科独唱専攻を首席にて修了。大学院アカンサス音楽賞、武藤舞賞を受賞。在籍中より「第62回藝大メサイア」、三越の第九」等でソリストに選出された他、JTアートホール主催「期待の音大生によるアフタヌーンコンサート」に出演。その後もパッハ『ヨハネ受難曲』、『マタイ受難曲』、ヘンデル『メサイア』、モーツァルト『レクイエム』、ドヴォルザーク『レクイエム』等のソリストを務め、様々な合唱団と共演。また、パッハ・コレギウム・ジャパンの声楽メンバーとして国内外の演奏会や録音に参加する他、近年では紀尾井ホール開館25周年記念演奏会で古楽界の巨匠トレヴァー・ピノック氏と共演を果たすなど、宗教曲の演奏に定評がある。オペラでは2018年よりイタリアに渡り、各地で『ドン・ジョヴァンニ』、『セヴィリアの理髪師』各題名役、『愛の妙薬』ペルコーレ役、『カヴァレリア・ルスティカーナ』アルフィオ役を演じる。鈴木優人&パッハ・コレギウム・ジャパン×千住博『魔笛』に僧侶・武士Ⅱ役で出演。横山奏指揮、伊那市民オペラ『夕鶴』に運哲役で出演。北とびあ国際音楽祭『アルミード』にアロント役、『レ・ボレアード』にボリス役で出演。これまでに故長町順史、寺谷千枝子、ジャン・マッフェオ、エウジェニオ・フォリャーティ、ルチア・マツァーリアの各氏に師事。



©T.Takada



©井土写真事務所 井上麗和